

コミュニケーション
キャラクター

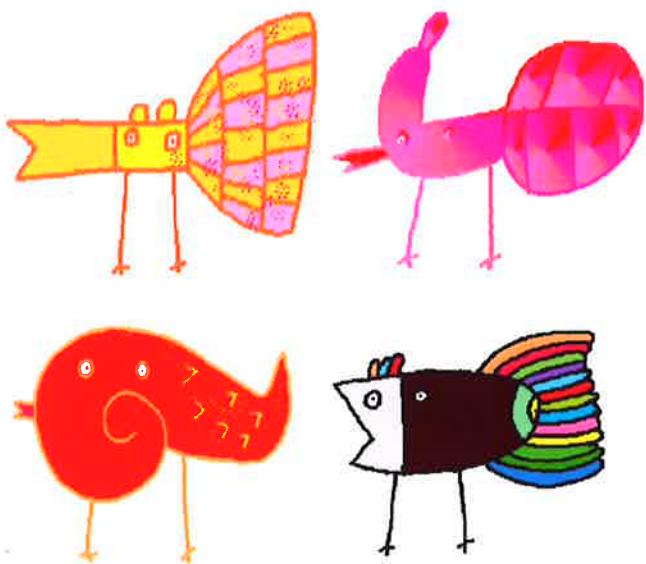


BIRD-KISSを知ろう！

モノが売れない時代、「売れているキャラクター」を採用することで20%売り上げがアップするという統計がある。結果、キャラクターが街中にあふれ、同じキャラクターが、クルマからキャンディにいたるまで登場。そして家にいてもどこかへ出かけても、同じキャラクターが微笑んでくれている。そのキャラクターが好きな人には、とてもうれしい事には違いないのだが、僕はこう思う。キャラクターがかわいそうだと。もともと、キャラクターたちは、なんのために生まれたのだろうか？ 制作者は、どんな想いをキャラクターに託していたのだろうか？ そんな風に考えて見ると、いったん制作者の手を離れたキャラクターたちは、商業という視点だけで使用され、本来の意図から想像もつかないモノにまで登場しているってことはないのだろうか？ なんでもかんでも「カワイイ」というだけで購買意欲をそそっていないか？ 反対に「カワイイ」だけで、買っている自分がいるんじゃないか。少なくとも僕の手から生まれたキャラクターはキャラクターたちのアイデンティティを大切にしたいし、そのアイデンティティを理解していただくところからコミュニケーションをスタートしたいと思っている

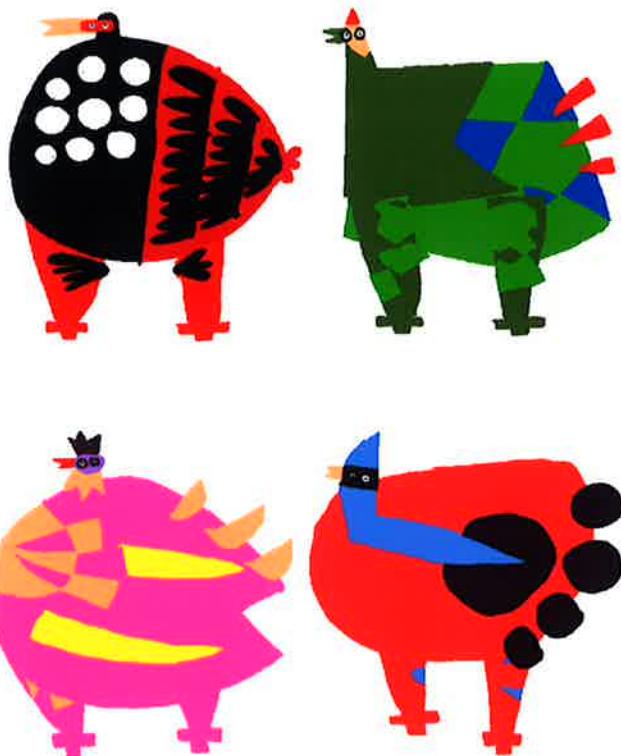


BIRD-1

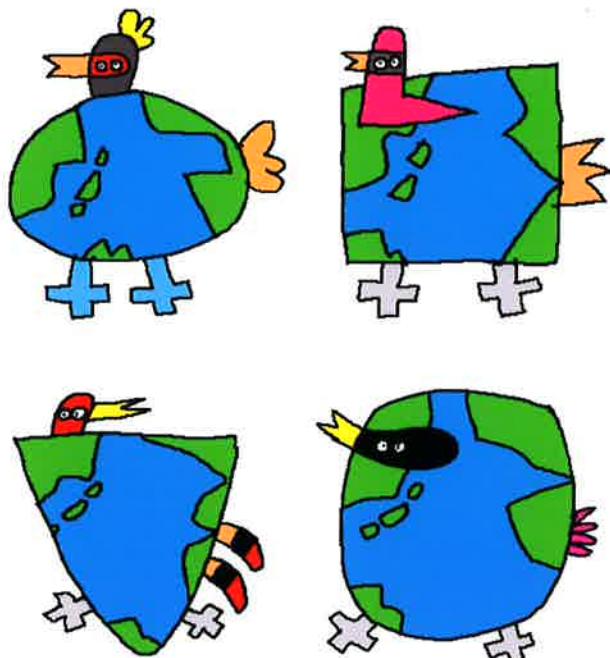


■バードキッス
空想の鳥「BIRD」。「くちばし」「両目」「足」という3つのアイテムさえあれば「鳥」でいいというルールによって100羽の「鳥-BIRD」は誕生しました。
ちなみに、KISSは、コミュニケーションを大切にしようという想いをこめています。また、造形作家とのコラボ立体の作品も誕生しています。

BIRD-2



地球BIRD



■アース BIRD-KISS

丸い形だけでなく、四角や三角などいろいろな形の「地球BIRD」。同じ地球でも、いろんな視点で考えることで、大切にしたい気持ちもいろいろです。

アンモBIRD



■アンモ @ BIRD-KISS

3億年前まで地球上に生息していたアンモナイト。外観は同じように見えるが、一つずつオリジナルな殻をもつ。自由に泳ぎ回っていたアンモナイトが大好きです。

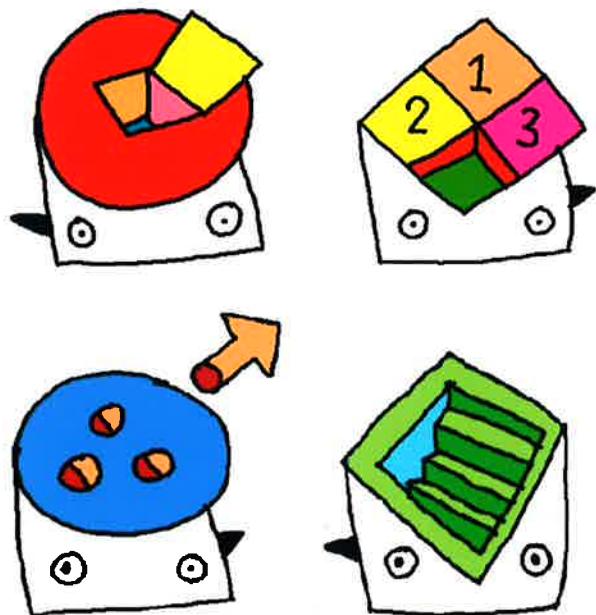
CRAB-BIRD



■クラブBIRD-KISS

カニだからって横歩きじゃなくてもいい。縦歩き、斜め歩き、後ろ歩き、そしてジャンプだってできる。個性豊かなカニたちが砂浜を彩る。

BOX-BIRD



■ボックスBIRD-KISS

誰もが持っている自分だけの「魔法の箱」。そこから、いろんな可能性が生まれ、いろんな人へ広がっていきます。自分を信じて生きてゆこう。

BOTTLE-BIRD



■ボトル BIRD-KISS

大切なメッセージをボトルにいれて、
そっと海に流したことありませんか？
あなたに届くかわからない。
いろんな思いがいろんなボトルが運んでくれます。

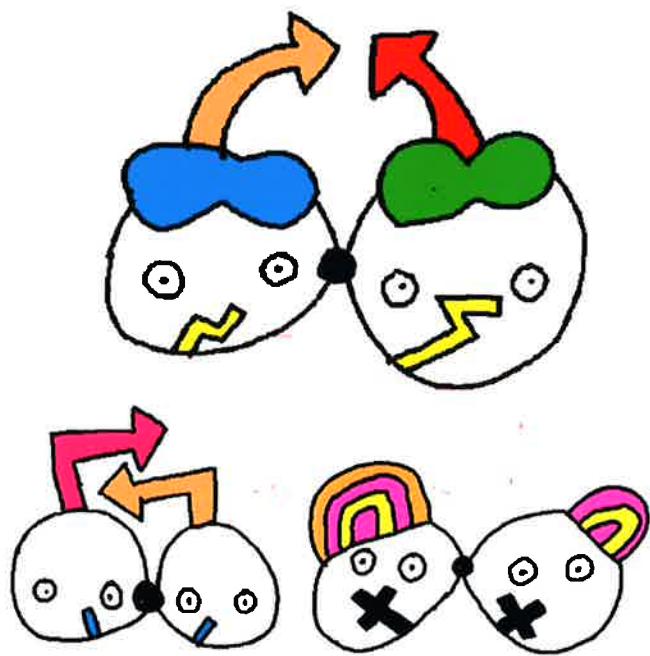
GIRLS-BIRD



■ガールズ BIRD-KISS

人と違うから自分らしい。
とっても個性豊かな少女たち。
他の人と比べることなく、
自分たちの好きなようにコーディネートする
少女たちは、とても美しいです。

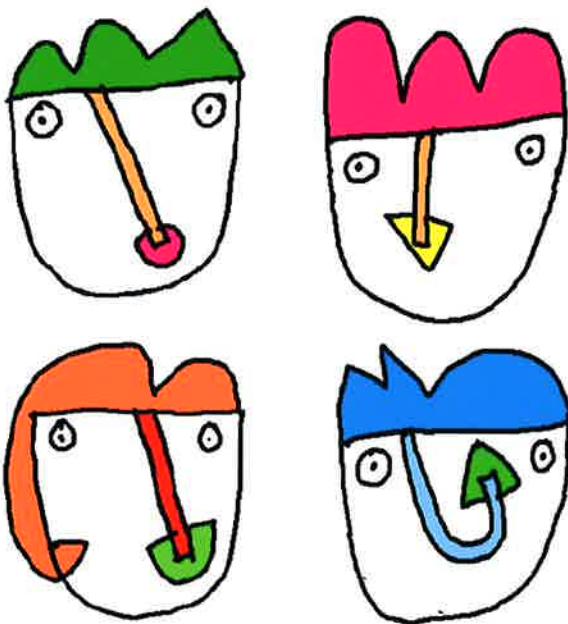
TWINS-BIRD



■ツインズ BIRD-KISS

相手を思いやる心は、自分を愛することから始まる。
自分がハッピーなら、相手もハッピー。
自分が嬉しいと、相手も嬉しい。
ツインズな気持ちがコミュニケーションを豊かにしてくれる。

FACE-BIRD



■フェイスBIRD-KISS

自分の顔をじっくり見たことありますか？
笑った顔、悲しい顔、怒った顔、困った顔など、
豊かな表情の顔を持っています。
心も同じ。じっくり自分に向き合ってみませんか？

CAT-BIRD



■キャット BIRD-KISS

BIRDと出会った方から、「CAT」展を催すので、創作して欲しいと依頼があった。ねこの愛しさをどこまで伝えられるか考えました。



FISH-BIRD



■フィッシュ BIRD-KISS

東京湾には、どのくらいの生物がいるんだろうか？魚に縫った数字だけでも、271種類。この豊かな海を守ってゆく子供たちが増えることを願う。

BOURBON-BIRD



■バーボン BIRD-KISS

好きが譲じて創作。その豊かなボトルの形状も一緒に楽しめるのがバーボン。また、バーボン誕生の歴史も興味深い。一杯、いかがですか？

ТЭНГЭР-BIRD



VILLAGE

テンゲル



■テンゲル BIRD-KISS

1990年の夏、那須高原に「モンゴリアン・ビレッジ・テンゲル」という宿泊施設をオープン。本格的なゲルでモンゴルの自然を愛する生活を体験できる。

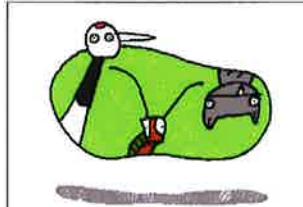
CHARACTER-BIRD

モノが売れない時代、「売れているキャラクター」を採用することで20%売り上げがアップするという統計がある。結果、キャラクターが街中にあふれ、同じキャラクターが、クルマからキャンディにいたるまで登場。そして家にいてもどこかへ出かけても、同じキャラクターが微笑んでくれている。そのキャラクターが好きな人には、とてもうれしい事には違いないのだが、僕はこう思う。キャラクターがかわいそうだと。

もともと、キャラクターたちは、なんのために生まれたのだろうか？ 制作者は、どんな想いをキャラクターに託していたのだろうか？ そんな風に考えて見ると、いったん制作者の手を離れたキャラクターたちは、商業という視点だけで使用され、本来の意図から想像もつかないモノにまで登場しているってことはないのだろうか？ なんでもかんでも「カワイイ」というだけで購買意欲をそそっていないか？

反対に「カワイイ」だけで、買っている自分がいるんじゃないかな。少なくとも僕の手から生まれたキャラクターはキャラクターたちのアイデンティティを大切にしたいし、そのアイデンティティを理解していただくところからコミュニケーションをスタートしたいと思っている。

警戒しそぎた3匹



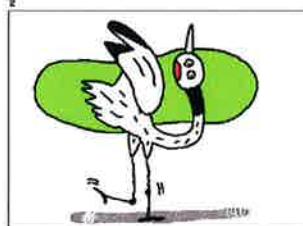
ある日、鷺、コオロギ、コウモリが出会いました。

3匹は、「普段から周囲に注意深く、出来る気持ちはあれば、命は安全。野原から命を守ることは出来るよね。でも、突然の災害から身を守るにはどうしたらいいんだろう？」と話し合っていました。



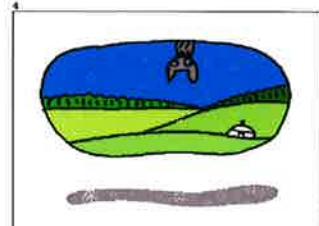
次に、コオロギが言いました。

「たくさんの水が流れ出したらどうしようか？ 洪水にならなかったら多くの動物が死んでしまうんだろう？だから僕は、高いところにのぼっているほうがいいと思って、青い高い草や石の上にいるようにしているんだ」



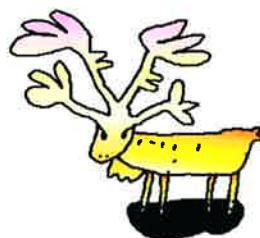
そこで、鷺はいました。

「多くとき、強く地面を踏むのは危険だよ！ 地面がへこんで、たくさんの生き物が落ちてしまうと思うと、心配で心配で、だから僕は、足をそっと持ち上げて、用心しながら歩くんだよ」

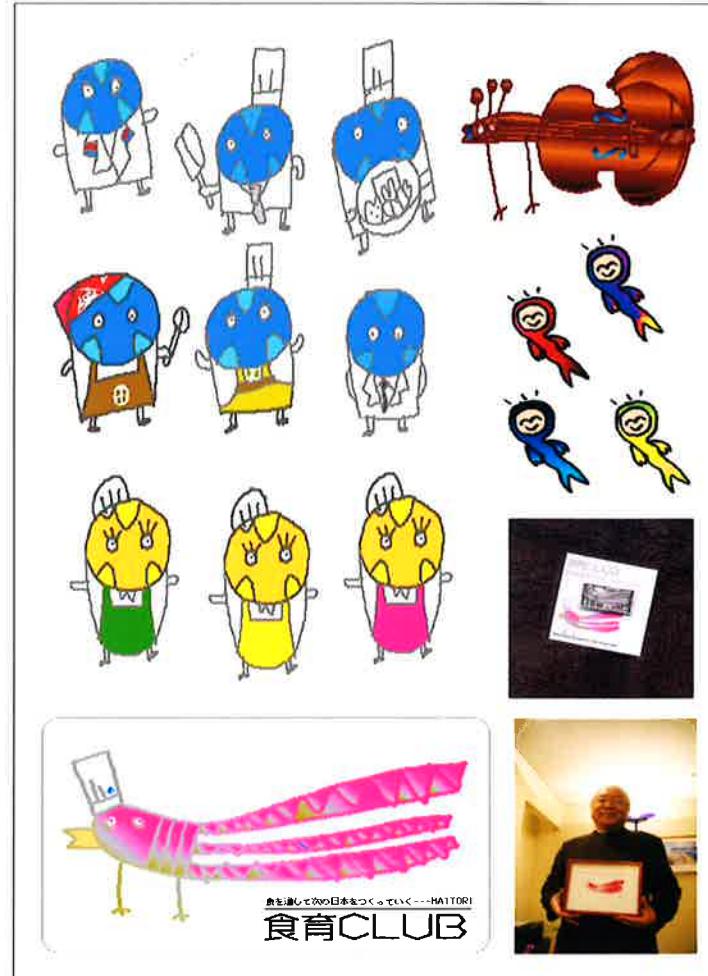
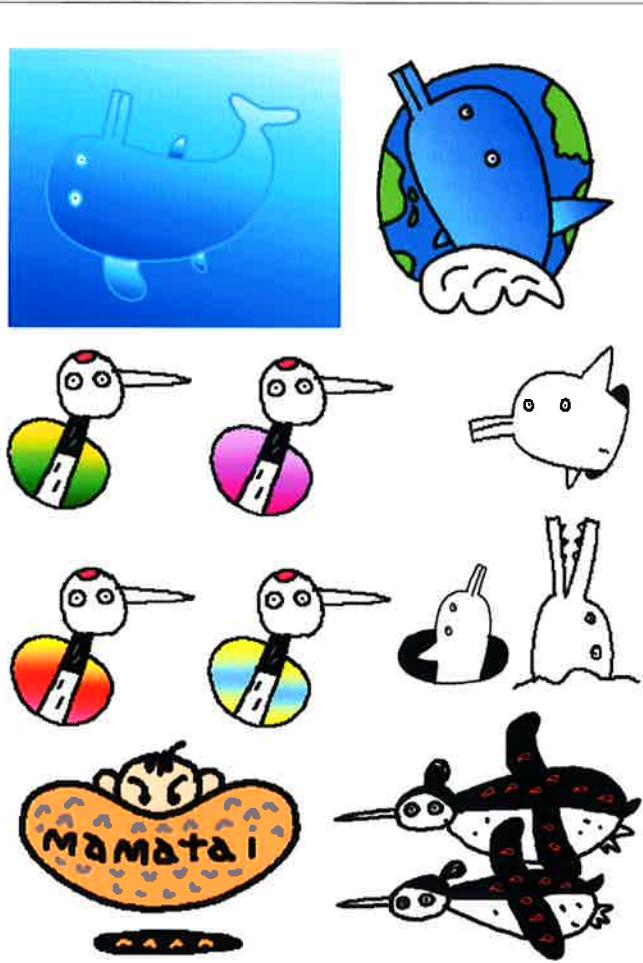


そして、食感たっぷりのコウモリが。

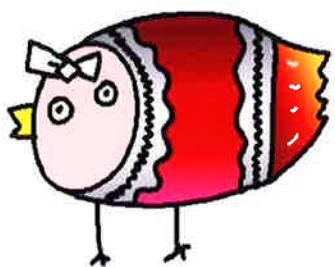
「なんだ、君たちの方法で大丈夫かい？ 僕は、天が落ちてきたらすごく心配しているのさ、だから、高いところから逃さまにぶら下がって、天を見ているんだよ」と言いました。



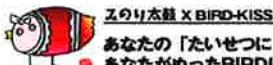
CHARACTER-BIRD



みのり太鼓-BIRD



みのり 太鼓



みのり太鼓 X BIRD-KISS

あなたの「たいせつにしたいこと」は何色ですか?
●あなたがぬったBIRDにえらんだ色のシールをはってください。



地球をたいせつにしたい!

世界の平和、貧困で困っている人を救いたい。人種差別をなくしたいなど。



自然をたいせつにしたい!

豊かな自然を守りたい。妙薬化をとめたいなど。



環境をたいせつにしたい!

公園をなくしたい。海にプラスチックをしないなど。



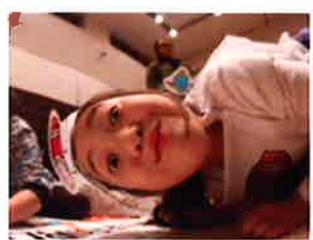
家族をたいせつにしたい!

おとうさん、おかあさん、兄弟とかよく暮らしたいなど。



■たいこBIRD-KISS

みの～れでの活動を応援する「みのり太鼓」キャラクター。元気いっぱいのワークショップをパワーアップ。練習とあわせて「地球環境」を考えるBIRD-KISSワークショップも開催しています。



マタニティ-BIRD



■マタニティBIRD-KISS

四季文化館みの～れでの「マタニティコンサート」とのコラボとして開催したBIRD-KISSワークショップ。ベリーペイントアーチストにお手伝いいただき、「コウノトリBIRD」で、大切な未来の命のために祝いました。

Myu-BIRD



■Myu BIRD-KISS
四季文化館みの～れの開館から活動している「演劇ファミリー・ミュ」のキャラクター。20年のおつきあいであるミュは、親子2代にわたって参加されている住民主体の団体です。数々のオリジナル作品を上演されます。



EGG-BIRD



■ WADH BIRD-KISS

四季文化館みの～れ「たまご展」での、BIRD-KISSワークションのコラボキャラ。テーマは「笑顔」。笑顔が楽しさを生むのではなく、楽しいから笑顔になる。楽しいことをみんなで考えよう！カブセルエッグでのおみくじやぬり絵で、子どもたちの笑顔一杯のイベントになりました。

